

3類型	農林水産物	通巻番号	4-19-024
地域資源名	烏骨鶏	認定日	平成19年12月10日
地域	石川県金沢市、白山市、津幡町	所管省庁	農林水産省、経済産業省

事業名： 烏骨鶏を活用した「烏骨鶏発芽玄米がゆ」の事業化

会社名：株式会社烏骨鶏

所在地：石川県金沢市西念4丁目21番18号

連絡先：TEL：076-232-4255

H P： <http://www.ukokkei.co.jp/>

FAX：076-233-0405

事業概要(新たな活用の視点)

- ・従来より、「烏骨鶏粥」として白粥を販売していたが、健康志向食品に対する市場のニーズを背景に、発芽玄米を取り入れた「烏骨鶏発芽玄米がゆ」を新たに開発した。
- ・お粥は健康志向食品としての人気も高まりつつあり、その市場も年々順調に伸びてきている。本品は高付加価値商品として、一般の白粥とは異なるものであり、既存の烏骨鶏を活用した他の商品群(スープ、ドリンク、カステラ等)の主要販売ルートと同様、ワンランク上の顧客層を狙う。



【烏骨鶏】

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

◆競争力

- ・メインとなる活用地域資源「烏骨鶏」の国内飼育数の約20%を保有し、その希少性の高い「烏骨鶏」からしか得られない栄養とコクのあるスープエキスを使用。さらに、能登海洋深層水で仕込んだ発芽玄米によって得られるギャバなどの高い栄養価が付加されており、競合他社への優位性を確保している。

◆市場性

- ・お粥本来の健康志向食品としての位置づけに加え、栄養面での差別化を評価してもらえる健康志向の高い層への販売が可能である。

◆販路

- ・大手百貨店、自社直販店、自社WEB直販、大都市圏高級スーパーマーケット等。



【烏骨鶏発芽玄米がゆ】

地域資源における関係事業者との連携

- ・富山大学和漢薬研究所と長年に亘り、烏骨鶏の栄養価、薬効について分析研究を行っている。また、金沢大学、石川県立大学とは製品の成分分析等で連携している。